

④ 石狩海浜植物保護センター



石狩海浜植物保護センターは、石狩の豊かな自然環境を次世代に遺していくための活動拠点として、2000年4月にオープンしました。

開館から20年を経て、海浜保全をめぐる状況も変化しています。保全策の見直しや市民活動のニーズの変化に合わせ、センター機能のさらなる充実を図っています。

■開館情報 / 4月29日～11月3日 10時～16時 (火曜休館・祝日の場合は翌平日)

保護センターの役割

人と自然をつなぐ



石狩の自然情報の発信や、自然を楽しめる企画を実施しています。

次世代と自然をつなぐ



近隣の小中学校や保育園等の授業や自然体験の場として活用しています。

自然と地域をつなぐ



海浜植物の保全活動を通じて、地元の方とのふれあいの場を創出しています。

自然情報を未来へつなぐ



過去の自然情報を集め、記録し、未来に活かせるように蓄積しています。



展示室



自然のしくみや利用ルールを知って、もっと楽しく石狩で遊ぼう！をテーマに、季節の自然情報をはじめ、石狩の成り立ち、砂浜や砂丘に生活する動植物などを紹介しています。

石狩の自然の概要 石狩における海浜植物保護のあゆみ



積丹半島から雄冬岬まで石狩湾をぐるっと見わたせます。

石狩の動植物の紹介



海岸砂丘の環境と植物、海岸砂丘の生態系を紹介しています。

海辺のクラフト体験コーナー

石狩で出会った貝や流木、海浜植物のタネを使って、オリジナルのクラフトが楽しめます。



自然観察園



石狩浜周辺に自生する植物を集めた観察園は、植物を手にとって観察したり、いきもの探しをしたり、学び・遊び・楽しむための場所です。外来種などを除去しながら、砂丘本来の植生をできる限り再現すべく整備しています。



ハマナス再生園



保護センターに隣接する 7,000 m²の土地を、「石狩浜ハマナス再生プロジェクト」（詳細は 14・15 ページ）の一環としてハマナスの再生を目指して整備しています。2013 年に内陸性草本や低木に覆われたこの場所の表土を 30 cm の深さで剥ぎ取り、ハマナスが再生しやすい環境づくりを始めました。

現在は野生ハマナスの種子から育てた苗の移植、内陸性草本や外来種の除草などを続け、風景の再生・維持管理手法の検証に取り組んでいます。

